【３】（１）
ディシディィム勉強会について（参考資料）

ツノルバ - 熊谷市decidim オンライン講習会

- 第1回:2025/01/30 (木)10:00〜
- 第2回:2025/02/01 (土)15:00〜

ツノルバ運営委員会

1. 講師の紹介
2. ツノルバとは？
3. システムの紹介
4. 管理画面にログインしてみよう
5. スペース（活動・プロジェクト）を作ってみよう
6. プロセス（ワークショップ・会議）を作ってみよう
7. ランディングページを設定しよう
8. コンポーネントを設置しよう
9. 質疑応答

この講習会では画像ファイルを使うことがあります

熊谷市はフリー素材集がありますので、使用する画像がない場合はこちらを使用してください。

https://www.city.kumagaya.lg.jp/shinsei/sonota/freedownload.html

1. 運営メンバーの紹介

運営メンバーの紹介



岡部友彦
コトラボ合同会社　代表



塚越慶吾
熊谷市産業振興部
商業観光課　主事



小林 巌生
インフォ・ラウンジ株式会社　副社長
Code for YOKOHAMA代表

2. ツノルバとは？

ツノルバとは？

「ツノルバ」は、熊谷市の星川地区周辺を中心に、市民が主体となってまちづくりに参加し、未来を共に創り上げるためのプラットフォームです。

「ツノル（募る）」には、多くのアイデアや仲間が集まる場所という願いが込められています。

1.参加者を募る場
ワークショップやプロジェクトへの参加を促し、まちづくりに関心のある市民が気軽に関わるきっかけを提供します。

2.仲間を募る場
プロジェクトを一緒に企画・実行する事務局メンバーや活動仲間を募ることができます。

3.アイデアを募る場
街をもっと良くするための新しいアイデアを集め、皆で共有・検討する場です。

4.意見を募る場
アンケートや投票を通じて地域住民の声を集めることができます。

5.協力者・支援を募る場
地域企業や支援者と課題解決の協力関係を築くことが可能です。

3. システムの紹介

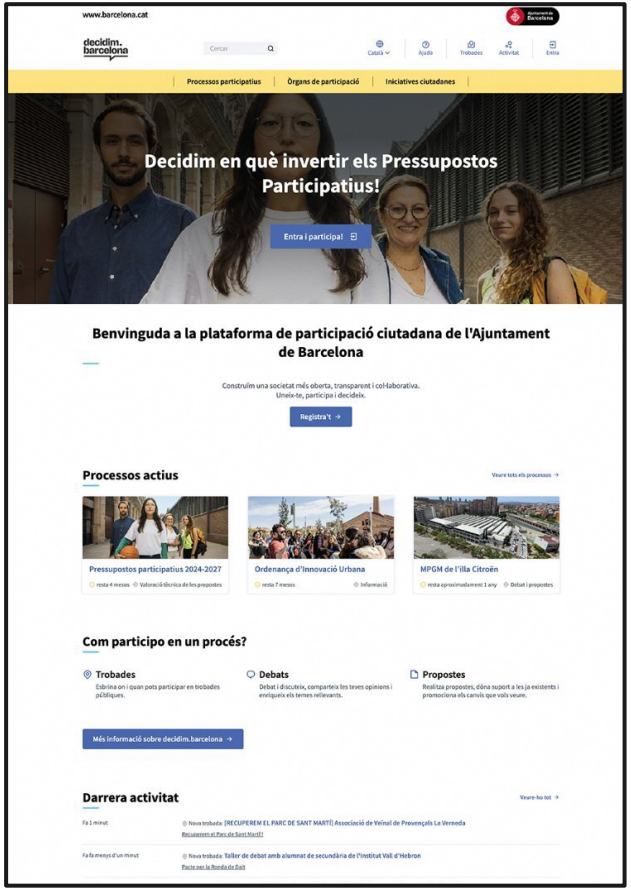
Decidimとは？

ツノルバはDecidimという多機能なプラットフォームを使っています。
今回はスペースとプロセスの作成に絞ってご紹介します。



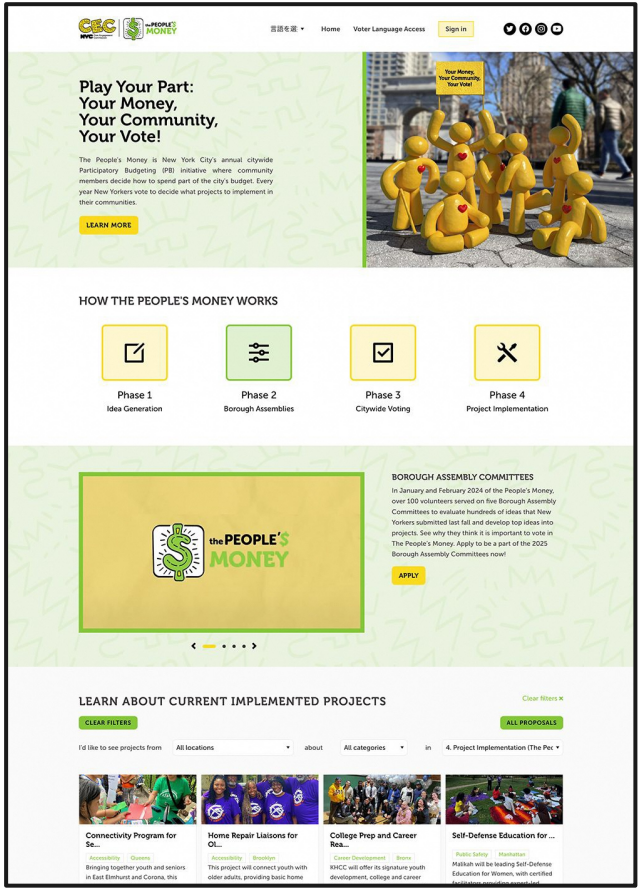
世界のDecidim - バルセロナ

バルセロナ市は、Decidimの発祥地であり、同市の参加型民主主義プラットフォームとして広範に活用されています。市民はこのプラットフォームを通じて、政策提案、公共プロジェクトの討論、予算配分の決定などに参加しています。これにより、市民の意見が市政に直接反映される仕組みが構築されています。



世界のDecidim - NY

ニューヨーク市では、Decidimを活用した参加型予算プロセスが実施されています。市民はこのプラットフォームを通じて、地域のプロジェクト提案を提出し、他の市民と討論し、投票を行うことで、予算の使途を決定しています。

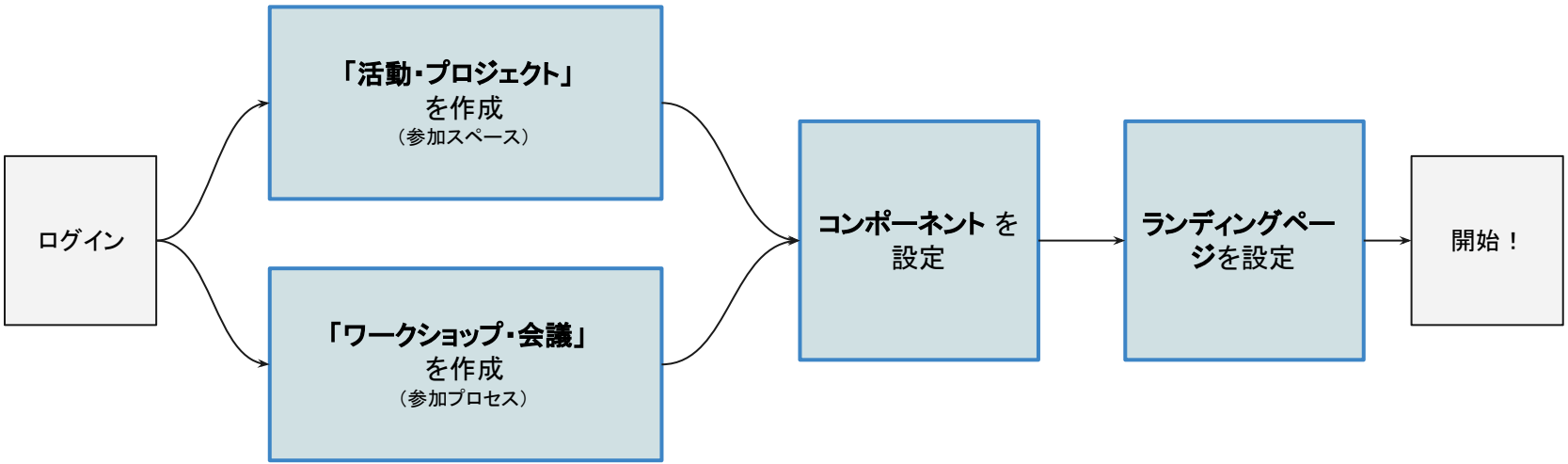


世界のDecidim - 加古川市

兵庫県加古川市は、日本で初めてDecidimを導入した自治体です。2020年10月に「加古川市版Decidim」を立ち上げ、市民からの意見やアイデアを収集し、議論を行う場として活用しています。



ツノルバのはじめかた（プロジェクトオーナ向け）



「活動・プロジェクト」とは

目的やテーマのもと、複数人のメンバーが参加します。
活動の方針を具体的な企画について議論や意志決定に活用したり、イベントの告知と参加者募集、活動報告など、幅広い活動形態に対応できます。

注：Decidimでは「参加スペース」と呼んでいます

例）花活、星川夜市

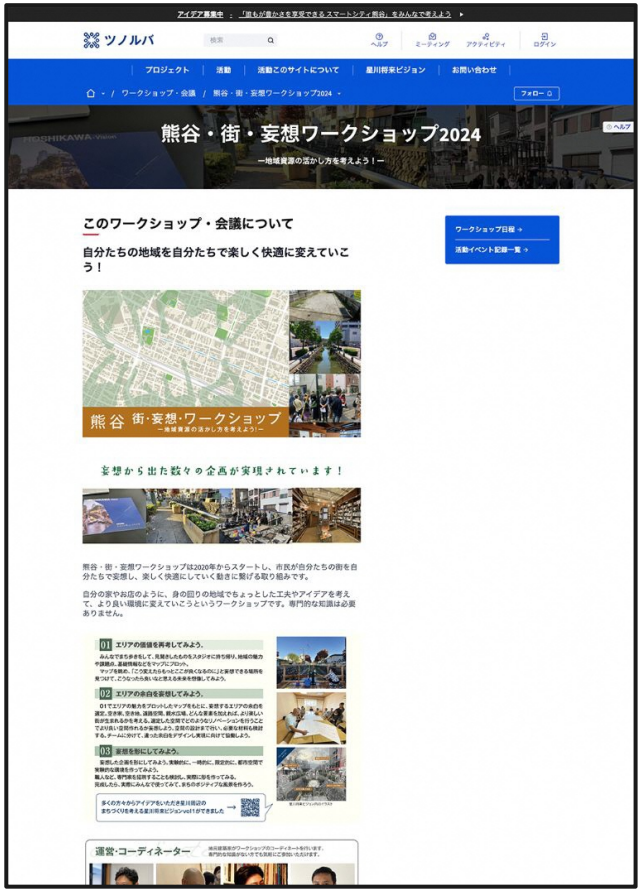


「ワークショップ・会議」とは

具体的なゴールに向けて、時限を設けて進めて行く活動に最適です。プロジェクトの段階を表す「フェーズ」という機能を利用すれば、プロジェクトの進捗を見える化することができます。

注：Decidimでは「参加プロセス」と呼んでいます

例）熊谷・街・妄想ワークショップ



コンポーネントとは

Decidimでは便利に使える多様な機能（プラグイン）が豊富に用意されています。プロジェクトの形態にあわせて、スペースやプロセスに導入することができます。

コンポーネント一覧 1/2

アカウンタビリティ

進捗状況を明らかにし、透明性を確保するためのツールです。目標や成果がどの程度達成されているかを公開し、確認できるようにします。

ブログ

記事や更新情報を発信するためのものです。情報を共有し、コミュニケーションを強化します。

予算

参加型予算プロセスを管理するために使用されます。特定のプロジェクトや提案に対して予算を割り当てたり、その結果を可視化します。

ページ

静的な情報を提供するためのページを作成する機能です。スペースやプロセスの概要やルール、重要な文書を掲載するために使います。

提案

ユーザーが自分のアイディアや提案をコミュニティに提出できます。これらの提案は他のユーザーによって議論され、サポートされることが期待されます。管理者は提案をレビューし、コミュニティのフィードバックに基づいて実行可能なものを選択することができます。

並べ替え

ランダムに選ばれた市民や委員を特定のタスクや委員会に割り当てるためのものです。これにより、公平でランダムな選出が保証されます。

コンポーネント一覧 2/2

ディベート

特定のトピックや提案について意見を交換・投票ができます。オンラインでの討論を通じて、異なる視点を理解し、合意形成を目指します。

ミーティング

オフラインやオンラインでの集会やイベントを管理するためのツールです。

並べ替え

ランダムに選ばれた市民や委員を特定のタスクや委員会に割り当てるためのものです。これにより、公平でランダムな選出が保証されます。

調査

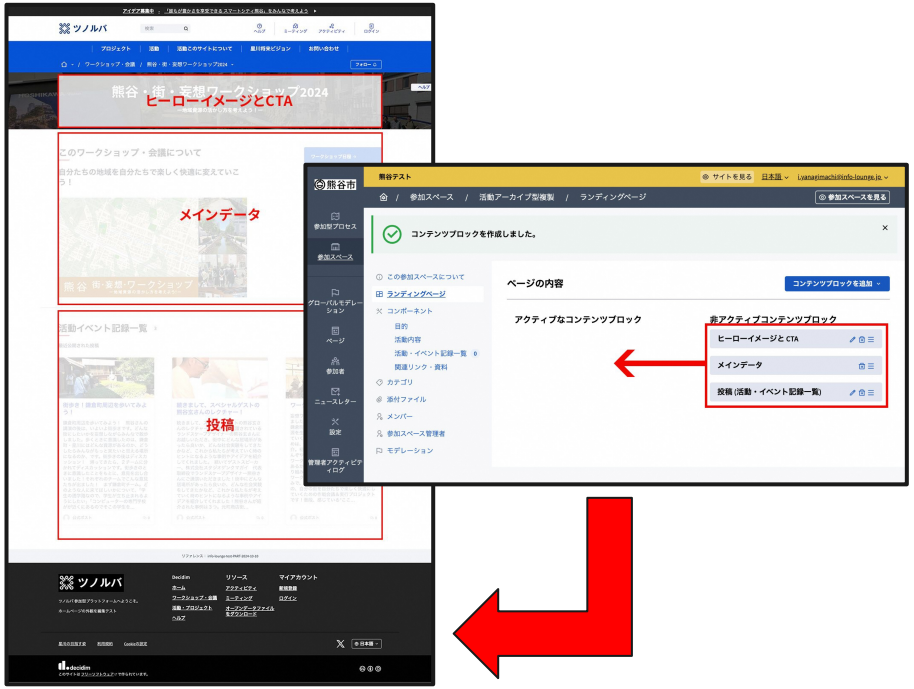
アンケートやフィードバックフォームを通じて市民の意見を集めるためのツールです。これにより、プロセスに対する市民の意見やニーズを直接収集できます。

ランディングページとは

プロジェクトのトップページを指します。プロジェクトの関連する情報や活動状況を集約して表示します。

導入したコンポーネントを表示することも可能です。

「活動・プロジェクト」では**メンバー**を、「ワークショップ・会議」では**現在のフェーズ**や**関連するスペース**を表示することもできます。



コンテンツブロックとは

ランディングページを構成するパーツ。特定の情報や機能を表示することができます。

配置するには、非アクティブコンテンツブロックからアクティブなコンテンツブロックへとドラッグ &ドロップで移動します。

コンテンツブロック一覧 1/4

HTMLブロック

HTMLコードを直接記述することで、任意のコンテンツ（テキスト、画像、動画、リンクなど）を自由にカスタマイズして追加できるセクションです。

ヒーローイメージと CTA

画像やメッセージでワークショップ・会議、活動・プロジェクトのテーマや目的を伝えるセクションです。行動を促すボタンやリンクも追加できます。

お知らせ

新しい情報や重要なお知らせを表示するためのセクションです。

メタデータ

ワークショップ・会議、活動・プロジェクトの追加情報（補足情報）を表示するためのセクションです。

日付のメタデータ

コンテンツに関連する重要な日付情報（作成日、更新日、イベント日など）を表示するセクションです。

ソーシャルネットワーク

外部のソーシャルネットワーク（X、Facebook、Instagram，Youtube、Github）に簡単にアクセスできるリンクを表示するセクションです。

コンテンツブロック一覧 2/4

メインデータ

ワークショップ・会議、活動・プロジェクトの説明とコンポーネントのリンクを表示するセクションです。

種別と期間

ワークショップ・会議、活動・プロジェクトの種類（種別）や、その期間（実施時期）を明確に表示するためのセクションです。

統計情報

データや成果を数値で示すセクションです。

最後のアクティビティ

最近行われたユーザーの活動や更新内容を表示するセクションです。

フェーズと期間

ワークショップ・会議の進行段階（フェーズ）と、その各段階の期間を表示するセクションです。

投稿

投稿を一覧表示するセクションです。

コンテンツブロック一覧 3/4

関連する参加スペース

関連する「活動・プロジェクト」を紹介するセクションです。

関連ドキュメント

「ワークショップ・会議」、「活動・プロジェクト」に関連する重要な文書やファイルを表示するセクションです。

関連画像

「ワークショップ・会議」、「活動・プロジェクト」に関連する画像を表示するセクションです。

提案

提案を一覧表示するセクションです。

結果

投票の成果、最終的な結果を表示するセクションです。

関連するプロセス

関連する「ワークショップ・会議」を紹介するセクションです。

コンテンツブロック一覧 4/4

これからのミーティング

これから開催予定のミーティングやイベントを一覧表示するセクションです。

メトリクス

「ワークショップ・会議」、「活動・プロジェクト」に関連する統計データや指標を数値で表示するセクションです。

4. 管理画面にログインしてみよう

①URLをブラウザで開くと、このような画面が現れます。https://dev.decidim.city.kumagaya.il3c.com/

②右上の「ログイン」をクリックします。



③申請したメールアドレスと事前に届いたパスワード
を入力し「ログイン」をクリックします。



③申請したメールアドレスと事前に届いたパスワード
を入力し「ログイン」をクリックします。



④「管理ダッシュボード」をクリックします。



⑤このような画面になります。
本講習会ではこのページを基点として解説をおこな
ます。



5.「活動・プロジェクト」（参加スペース）を作ってみよう

「活動・プロジェクト」とは

目的やテーマのもと、複数人のメンバーが参加します。
活動の方針を具体的な企画について議論や意志決定に活用したり、イベントの告知と参加者募集、活動報告など、幅広い活動形態に対応できます。

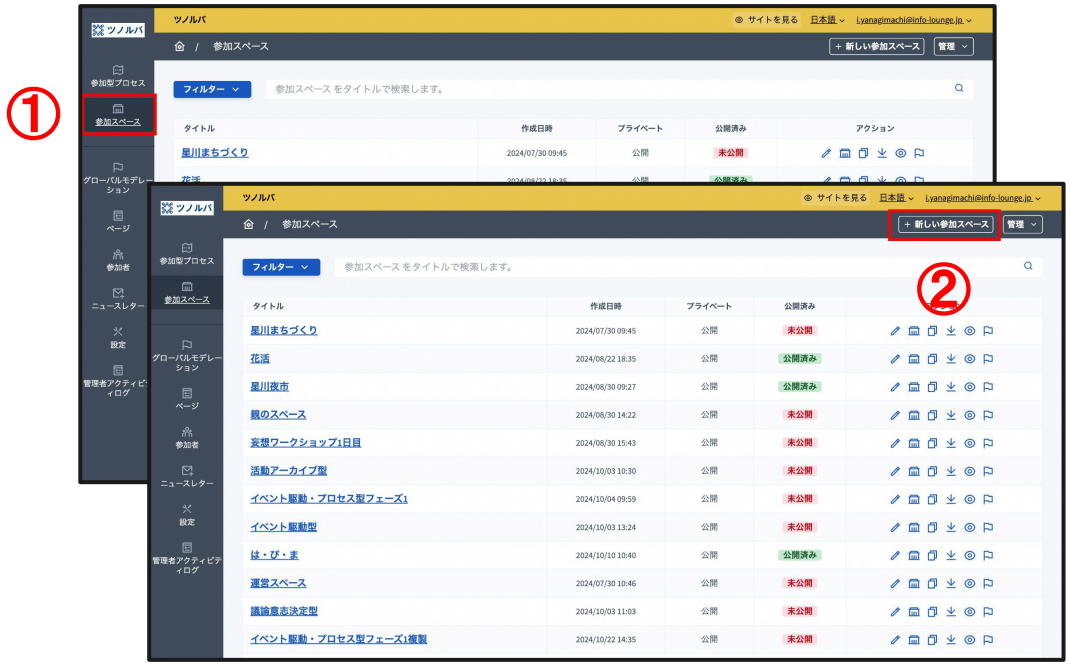
注：Decidimでは「参加スペース」と呼んでいます

例）花活、星川夜市



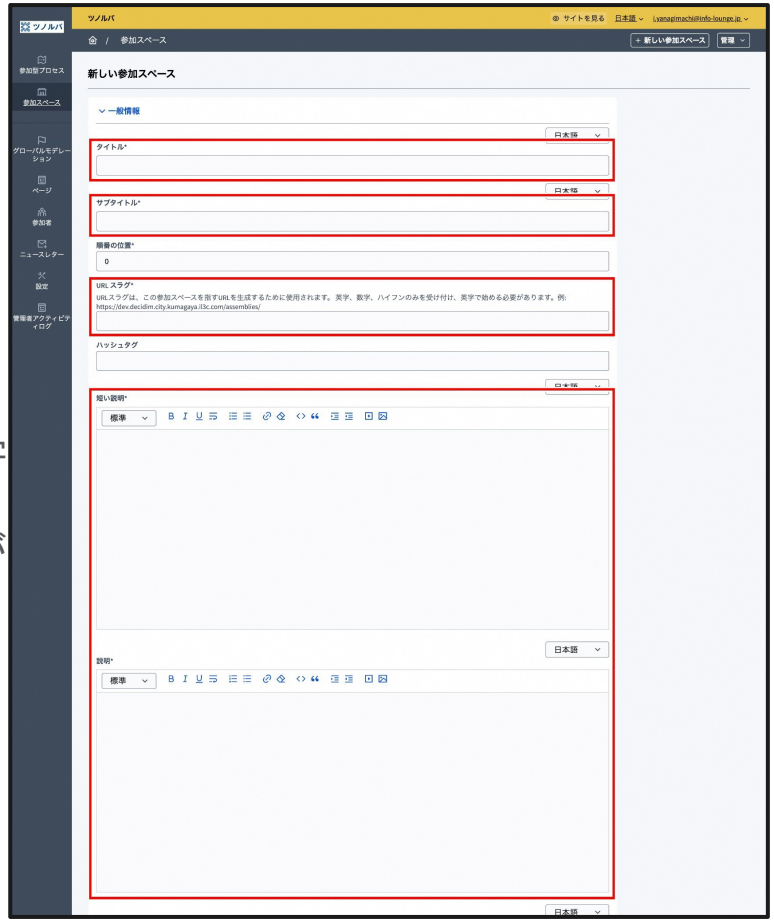
①「参加スペース」をクリックします。

②「新しい参加スペース」をクリックします。



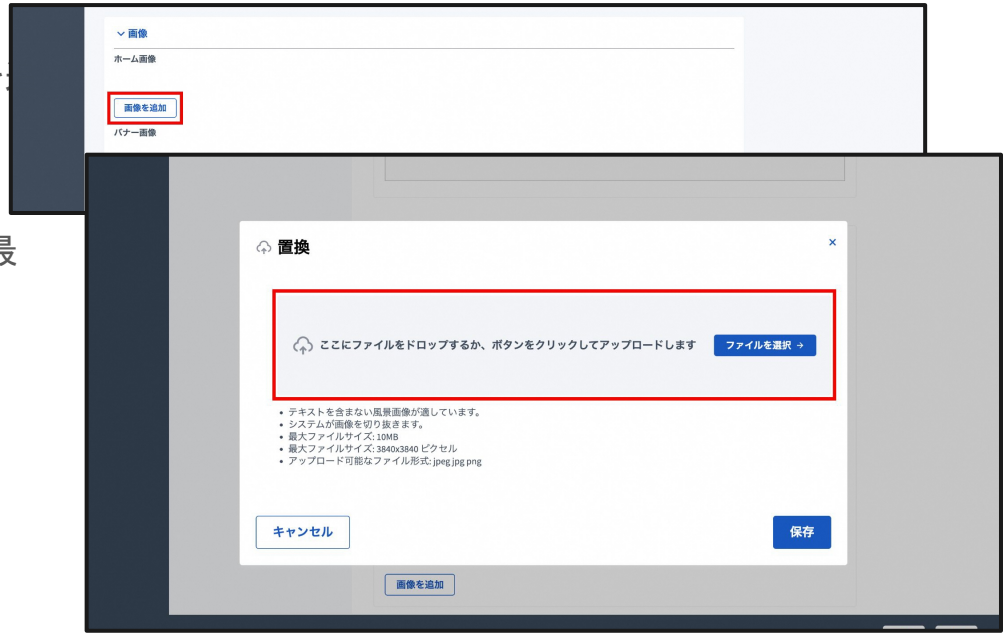
③「タイトル」「サブタイトル」「URLスラッグ」「短い説明」「説明」を入力します。

URLスラッグはURLに使用しますので、「英字、数字ハイフン」のみを使用してください。
英字から始める必要があり、ユニークである必要があります。



④「ホーム画面」下の「画像を追加」を押して画像を追加します。

グレー部分に画像をドラッグ＆ドロップします。
アップロードできる最大ファイルサイズは100MB、最大の大きさは3840x3840ピクセル、拡張子はjpeg・jpg・pngです。



⑤右下の「保存」をクリックします。



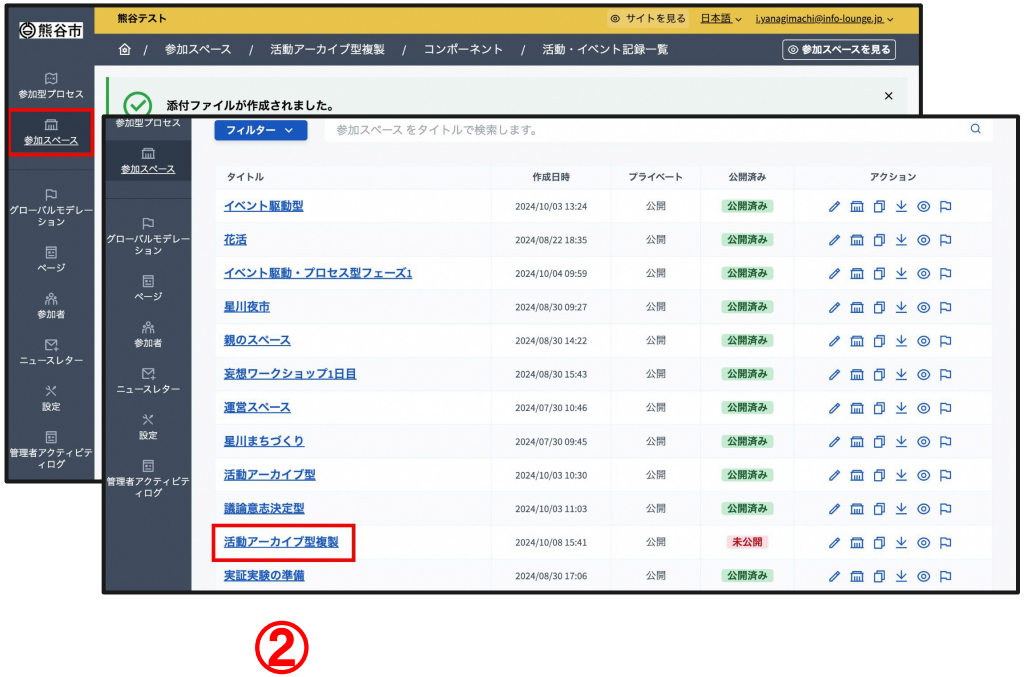
⑥右下の「作成」をクリックします。



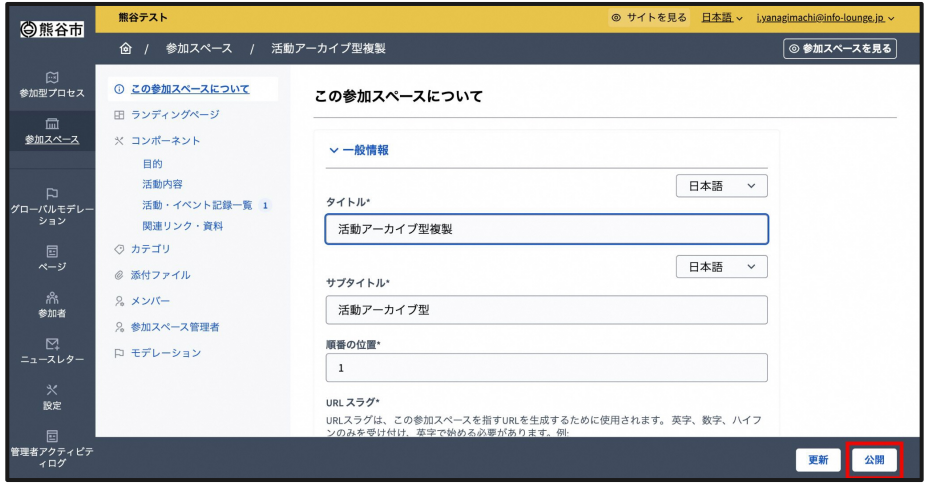
5.1.「活動・プロジェクト」（参加スペース）を公開しよう

①「参加スペース」をクリックします。

②作成したスペースのタイトルをクリックします。



③右下の「公開」をクリックします。



④右上の「参加スペースを見る」からスペースの確認
ができます。



このような画面になります。

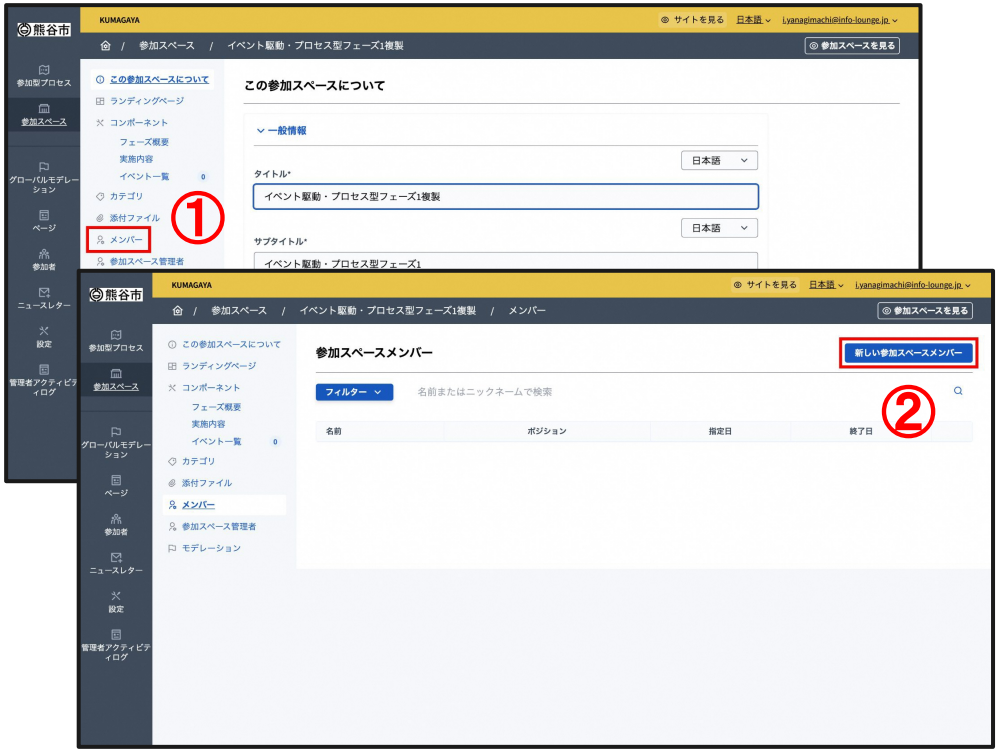


5.2. メンバーを利用しよう

「活動・プロジェクト」（参加スペース）にはメンバーという機能があります。
活動・プロジェクトにどんなメンバーが参加しているかを表すものです。

①スペースのページで「メンバー」をクリックします。

②右上の「新しい参加スペースメンバー」をクリックします。



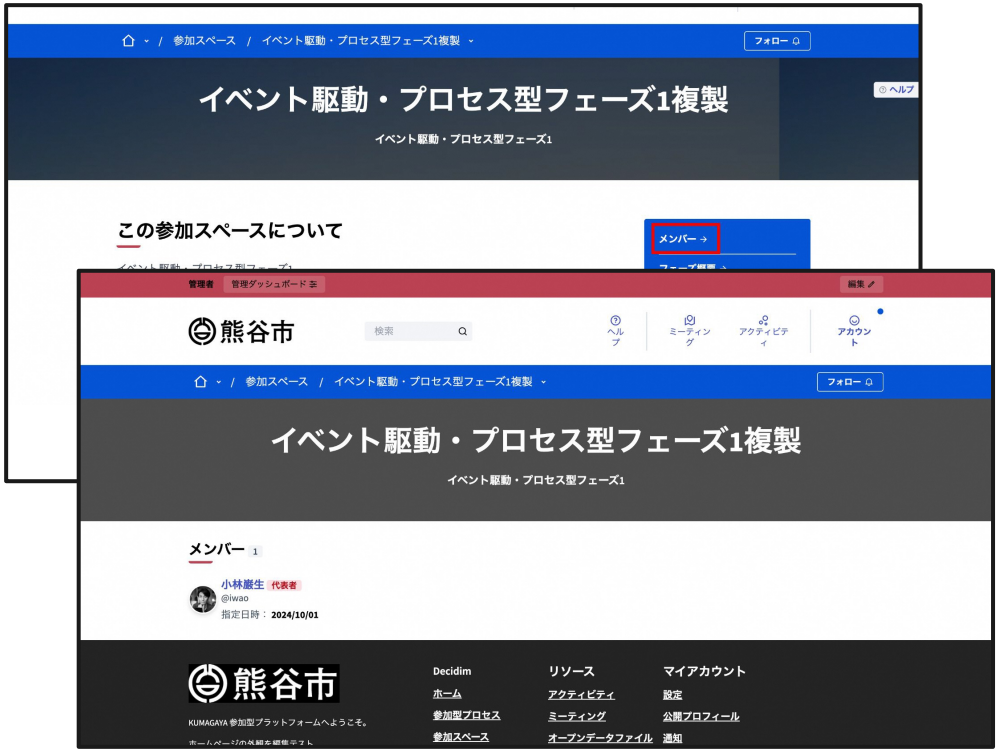
③「参加者の種類」を「既存の参加者」にし、「ユーザー」「ポジション」を選択し、「指定日」を入力します。



④右下の「作成」をクリックします。



⑤ランディングページに「メンバー」というリンクが追加され、メンバーページができます。



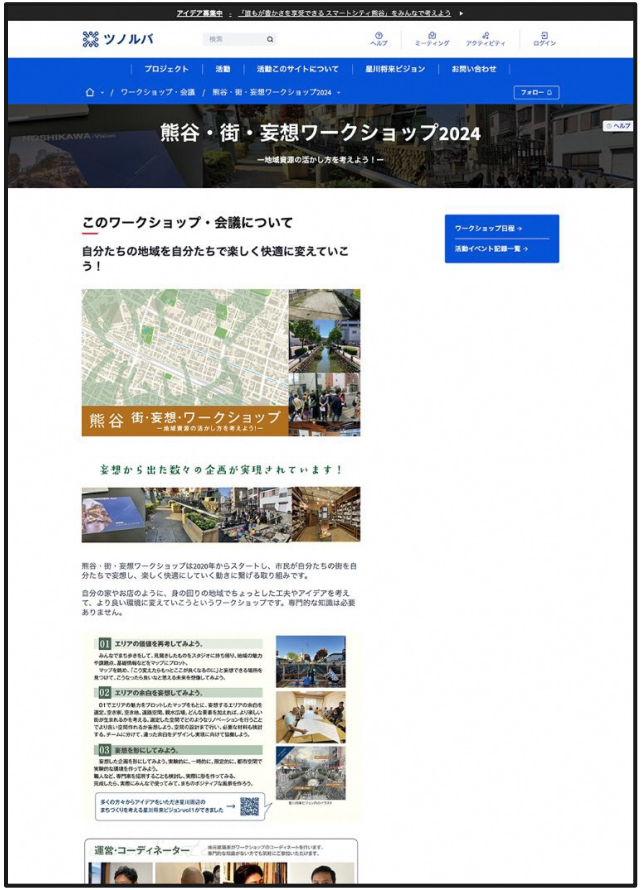
6.「ワークショップ・会議」（参加プロセス）を作ってみよう

「ワークショップ・会議」とは

具体的なゴールに向けて、時限を設けて進めて行く活動に最適です。プロジェクトの段階を表す「フェーズ」という機能を利用すれば、プロジェクトの進捗を見える化することができます。

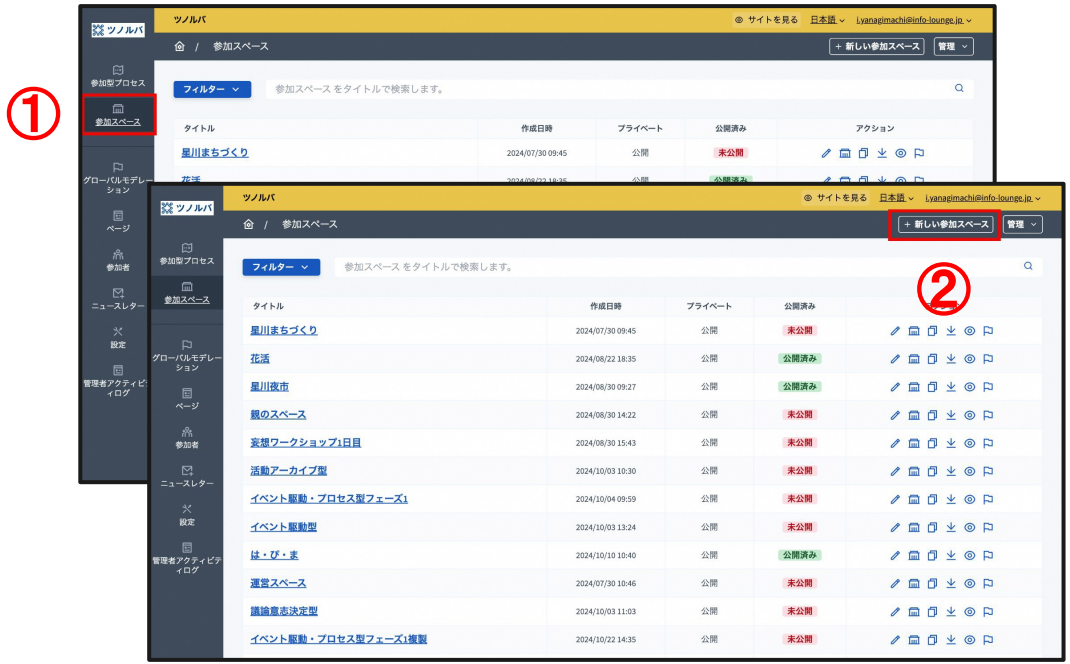
注：Decidimでは「参加プロセス」と呼んでいます

例）熊谷・街・妄想ワークショップ

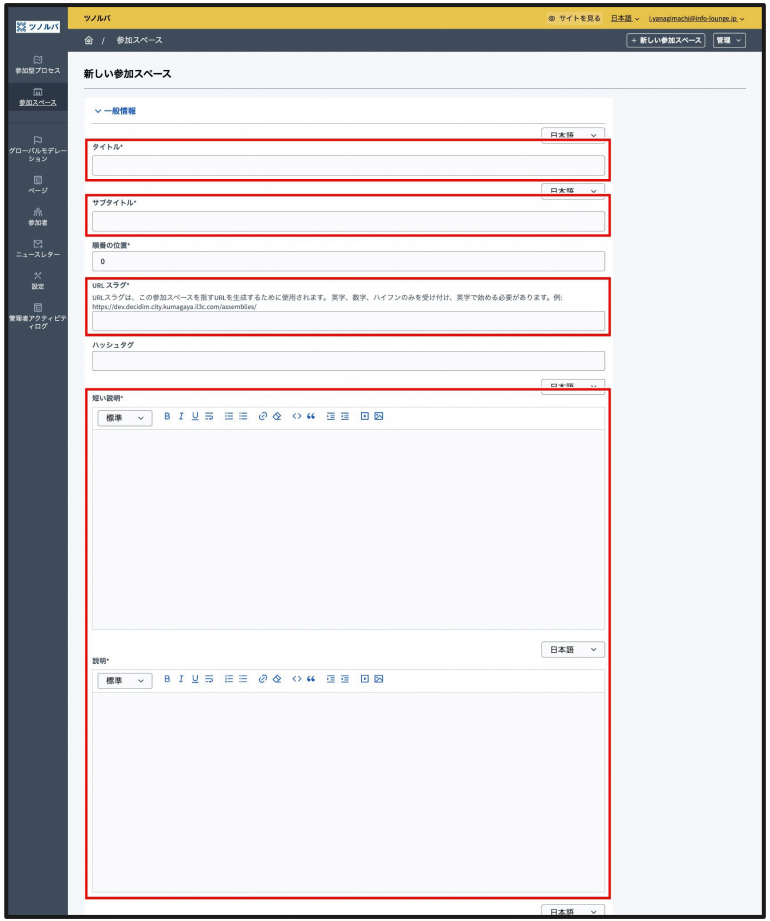


①「参加スペース」をクリックします。

②「新しい参加スペース」をクリックします。



③ここ以降はスペースと一緒です。



6.1. 子スペースを作って連携しよう

「ワークショップ・会議」（参加プロセス）の中には「子プロジェクト」（子スペース）を複数作成することが可能です。
「子プロジェクト」（子スペース）で「関連する参加型プロセス」を設定すると、親「ワークショップ・会議」（参加プロセス）のランディングページの「関連する活動・プロジェクト」に表示することができます。

今回はイベント駆動・プロセス型フェーズ1をサンプルに説明します。
基本的には

- 5. スペース（活動・プロジェクト）を作ってみよう
- 7. ランディングページを設定しよう
- 8. コンポーネントを設置しよう

を参考にしてください。

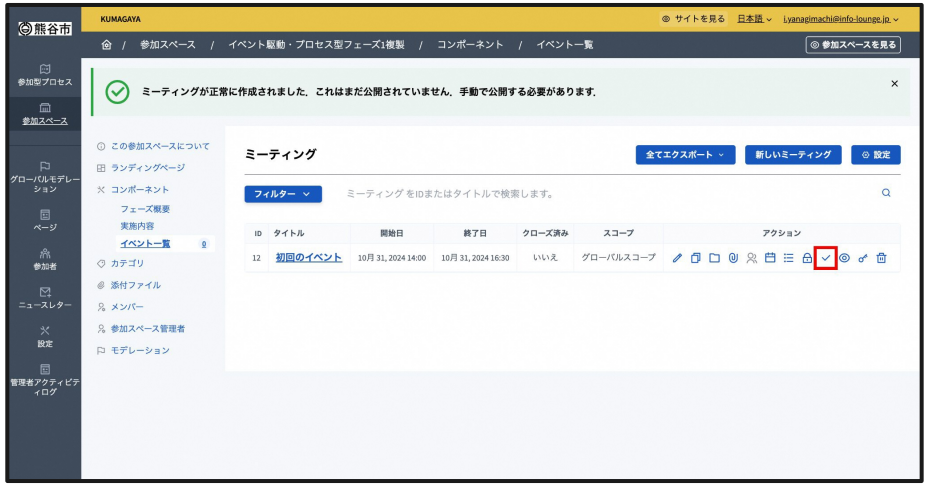


異なる点は、以下の2つです。

①スペースの設定で、「関連する参加型プロセス」を設定します。



②ミーティングのコンポーネントも一覧から公開する必要があります。



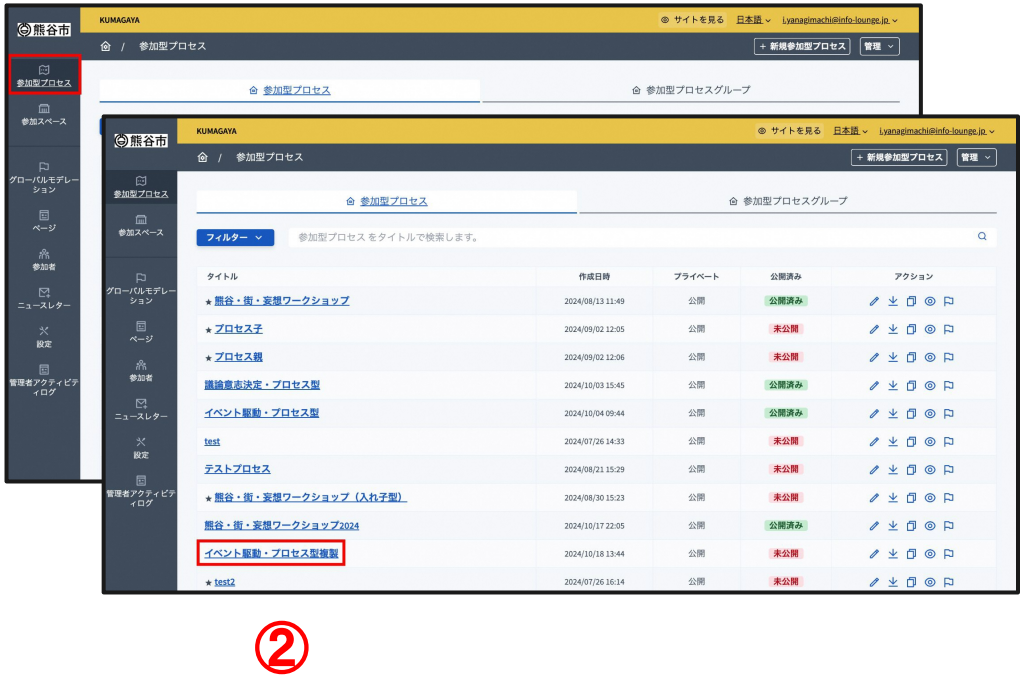
そうすると、このような画面になります。



6.2. プロセスを公開しよう

①「参加型プロセス」をクリックします。

②作成したプロセスのタイトルをクリックします。



③右下の「公開」をクリックします。



④右上の「プロセスを見る」からプロセスの確認ができます。



このような画面になります。



6.3. フェーズを利用しよう

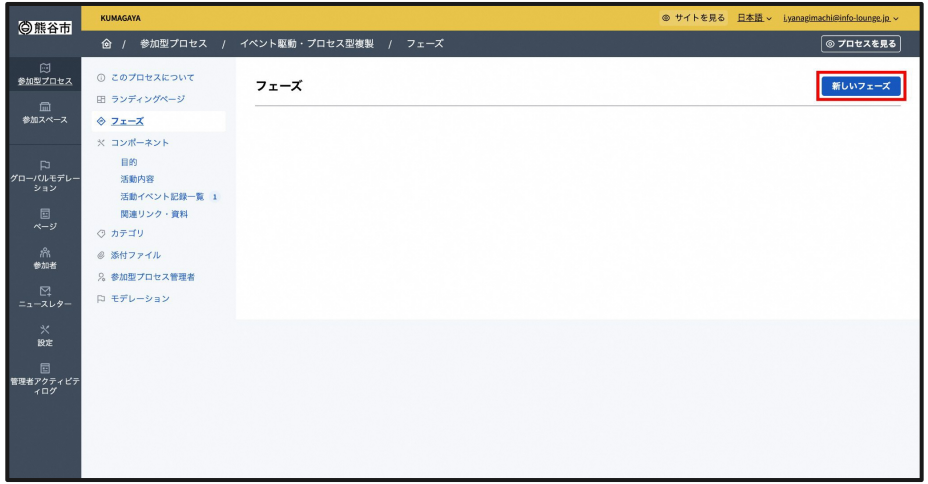
「ワークショップ・会議」（参加型プロセス）にはフェーズという機能があります。
プロセスがどの段階・時期にいるかを表すものです。



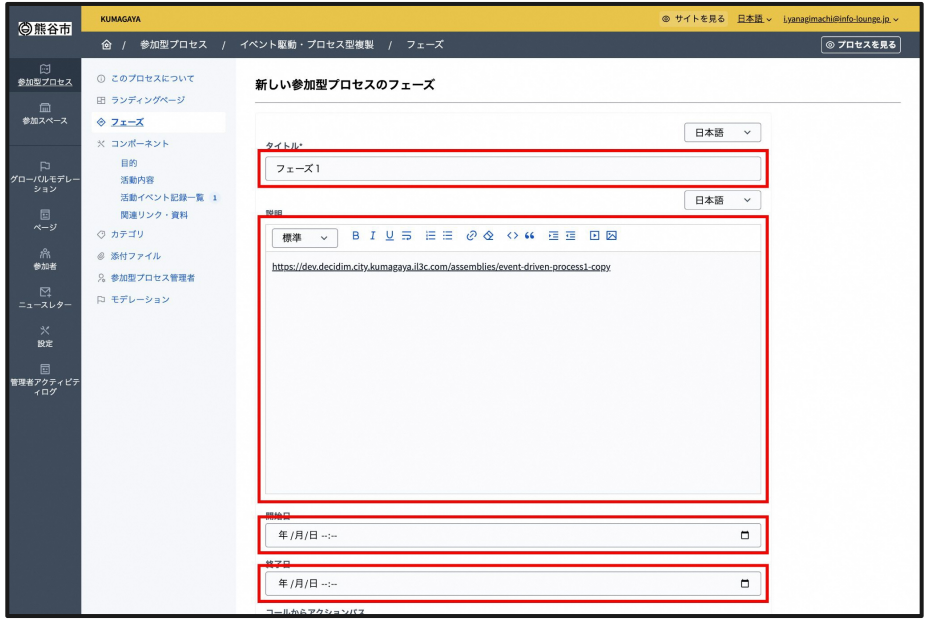
①プロセスのページで「フェーズ」をクリックします。



②右上の「新しいフェーズ」をクリックします。



③「タイトル」「説明」、期間がある場合は「開始日」「終了日」を入力します。



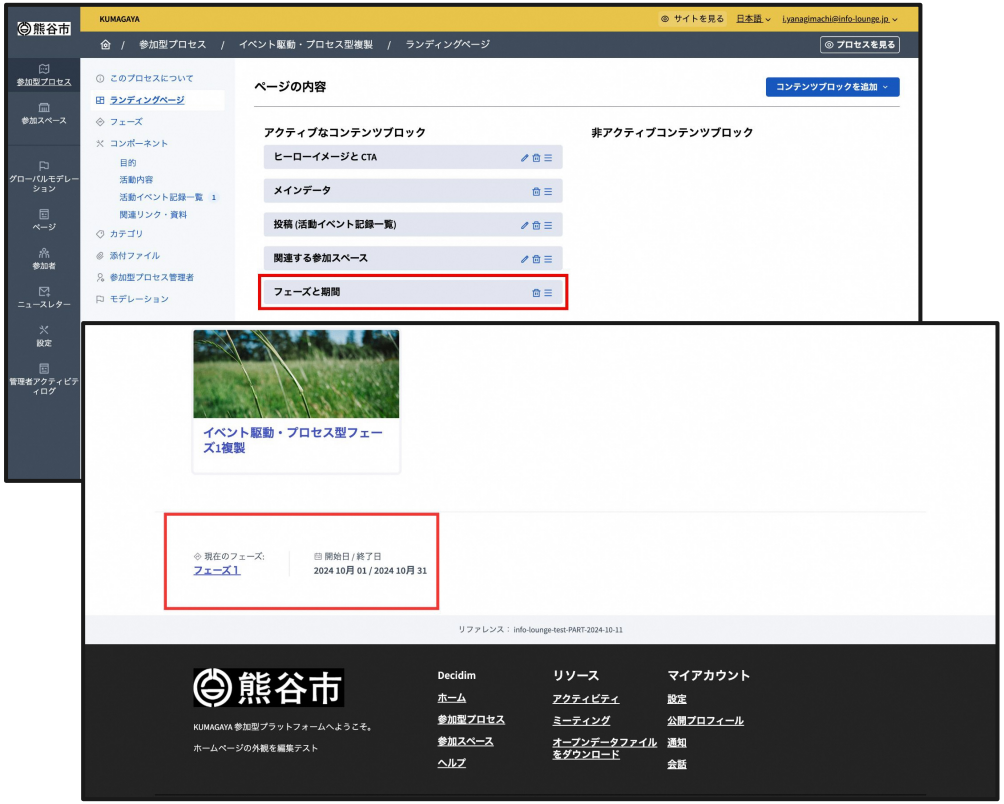
④右下の「作成」をクリックします。



⑤一覧に終了までの時間とフェーズが表示されます。



ランディングページに「フェーズと期間」を追加することも可能です。



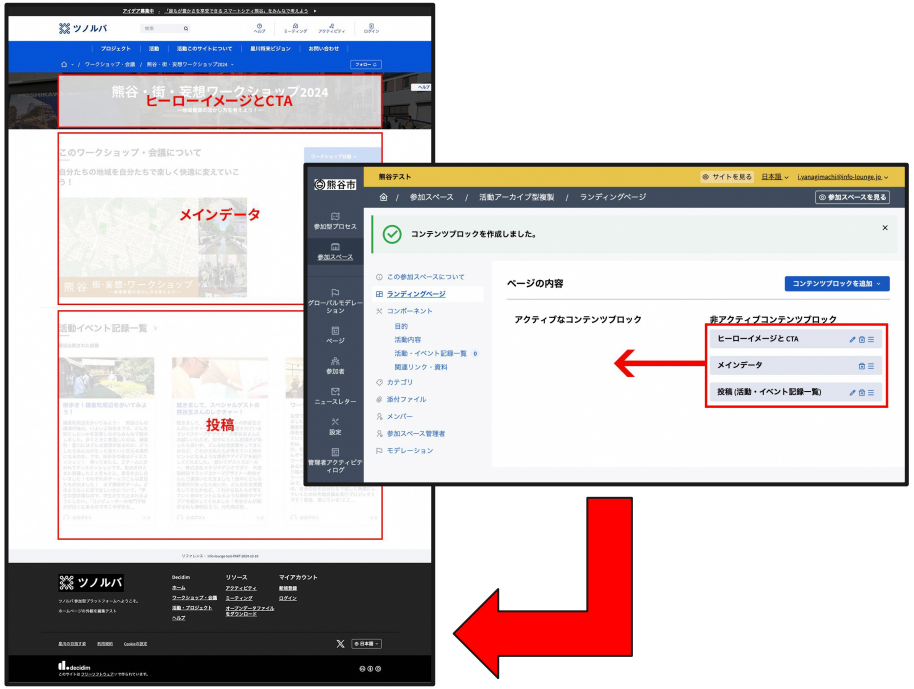
7. ランディングページを設定しよう

ランディングページとは

「活動・プロジェクト」や「ワークショップ・会議」等プロジェクトのトップページを指します。プロジェクトの関連する情報や活動状況を集約して表示します。

導入したコンポーネントを表示することも可能です。

「活動・プロジェクト」ではメンバーを、「ワークショップ・会議」では現在のフェーズや関連するスペースを表示することもできます。



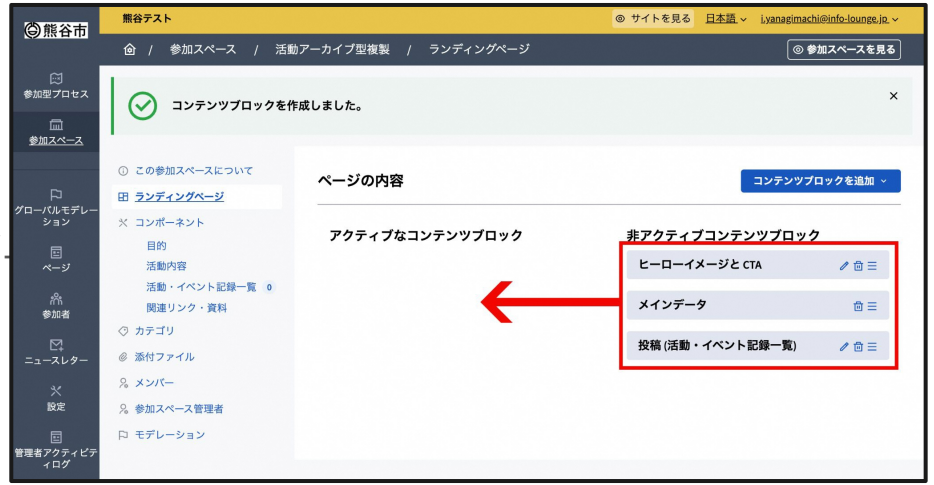
①「ランディングページ」をクリックします。



②「コンテンツブロックを追加」をクリックし、「ヒーローイメージとCTA」「メインデータ」「投稿」を1回ずつクリックします。



③「非アクティブコンテンツブロック」に表示されるので、その順番のまま「アクティブなコンテンツブロック」に1つずつドラッグ &ドロップします。



④「ヒーローイメージとCTA」の横にあるペンのマーク
をクリックします。

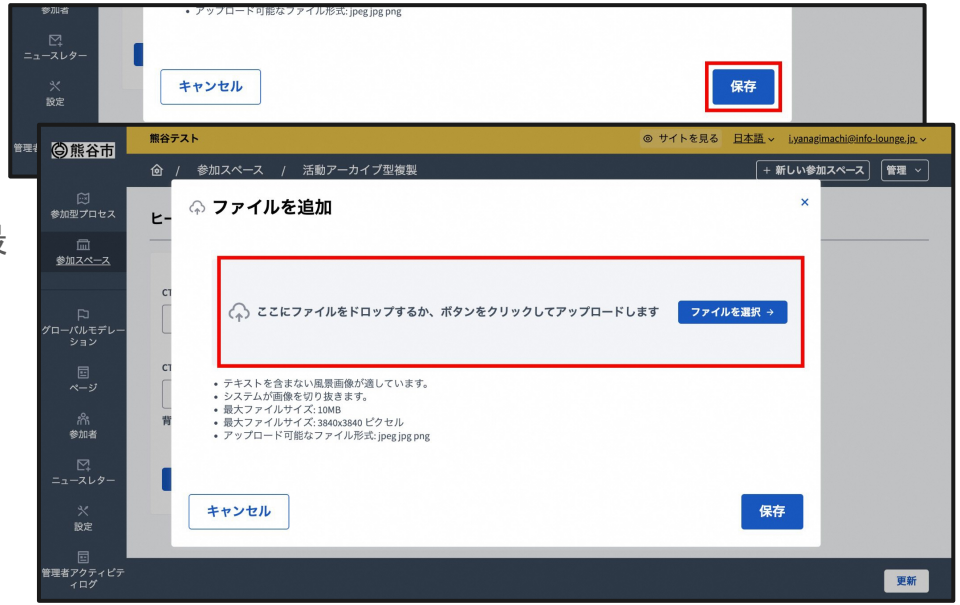


⑤背景画像の下の「ファイルを追加」をクリックします。

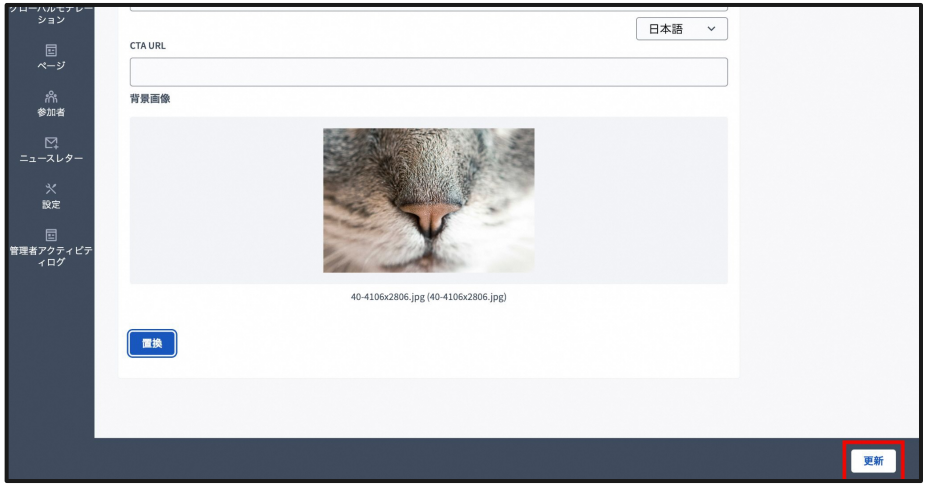


グレー部分に画像をドラッグ＆ドロップします。
アップロードできる最大ファイルサイズは100MB、最大の大きさは3840x3840ピクセル、拡張子はjpeg･jpg･pngです。

右下の「保存」をクリックします。



⑥右下の「保存」または「更新」をクリックします。



8. コンポーネントを設置しよう

8.1.「ブログコンポーネント」の使い方

ブログコンポーネントは「活動・イベント記録一覧」な
どで使うことができます。

①「コンポーネント」をクリックします。



②「コンポーネントを追加」をクリックします。



③ブログをクリックします。



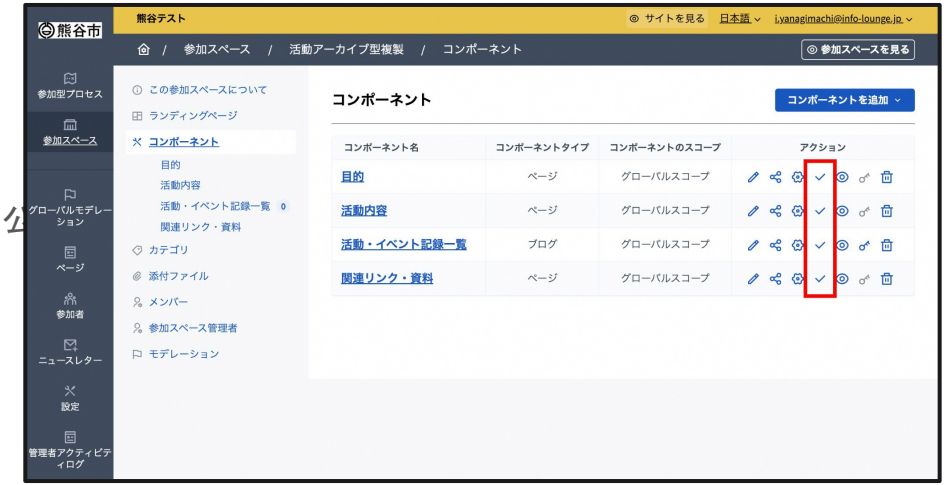
④「名前」を入力して、「コンポーネントを追加」をクリックします。



⑤「コンポーネント」をクリックします。



⑥ブログのチェックマークを押してコンポーネントを公開します。



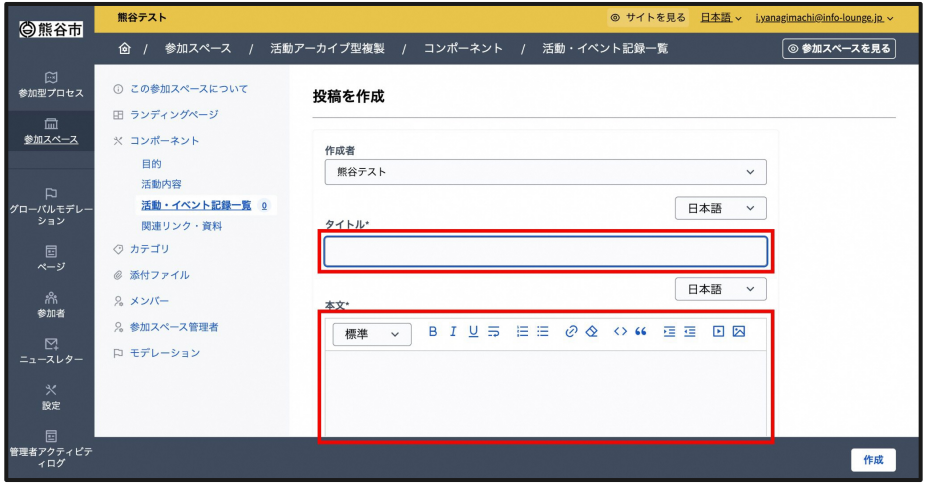
⑦「コンポーネント名」をクリックして、編集ページを開きます。



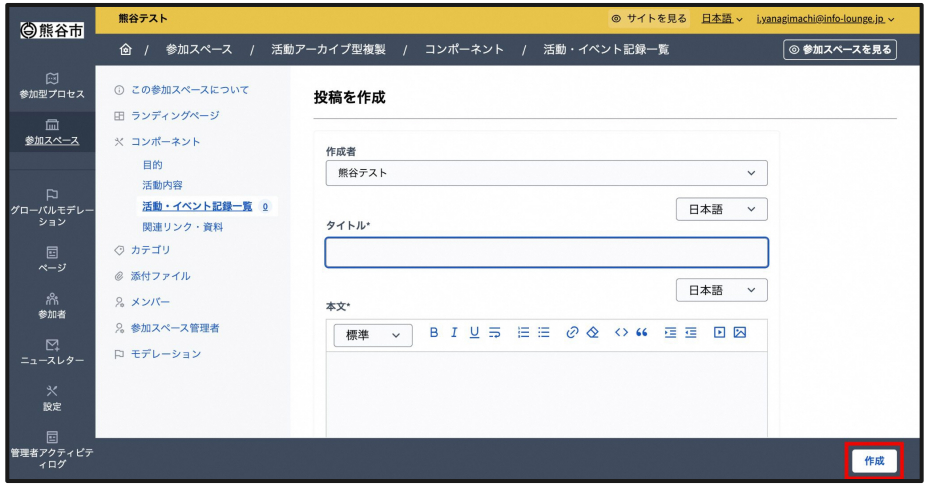
⑧「新規投稿」をクリックします。



⑨「タイトル」と「本文」を入力します。



⑩右下の「作成」をクリックします。



⑪先ほど作成したブログの「添付ファイル」をクリックします。



⑫「新しい添付ファイル」をクリックします。



⑬「添付ファイル名または画像名」と「説明」を入力します。



⑭「ファイルを追加」をクリックします。

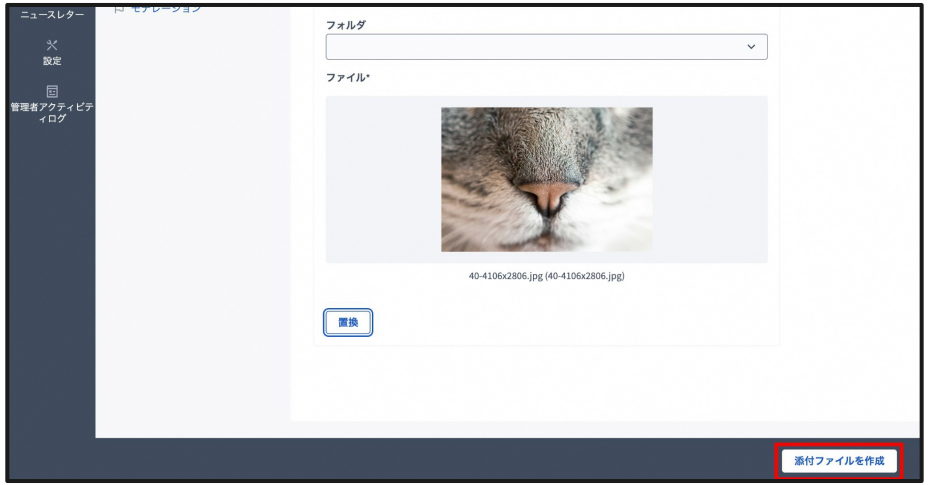


グレー部分に画像をドラッグ＆ドロップします。
アップロードできる最大ファイルサイズは100MB、
最大の大きさは8000x8000ピクセル、拡張子は
doc・docx・jpeg・jpg・odf・ods・odt・otg・ots・ott・p
df・png・ppt・pptx・ppx・rtf・txt・xls・xlsxです。

右下の「保存」をクリックします。



⑮「添付ファイルを作成」をクリックします。



8.2. コンポーネントの非公開

①「コンポーネント」をクリックします。



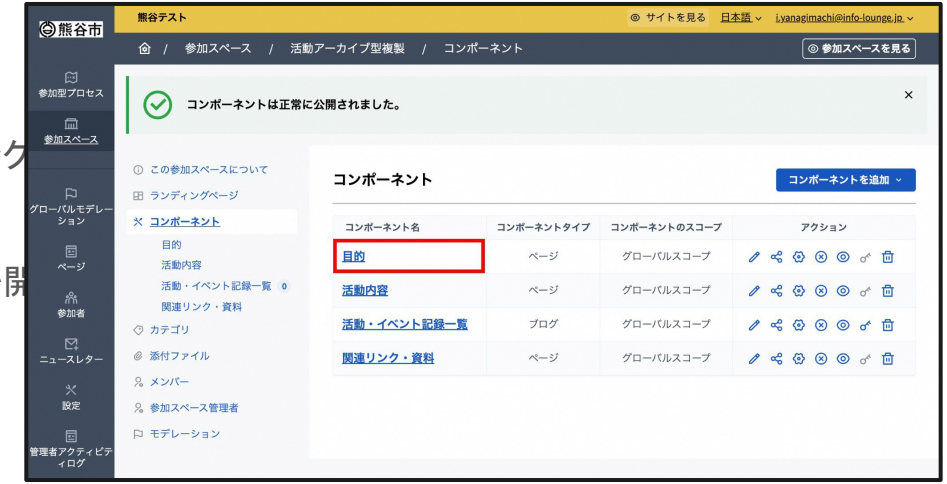
②非公開にしたいコンポーネントの「公開アイコン」を
クリックして、コンポーネントを非公開にします。



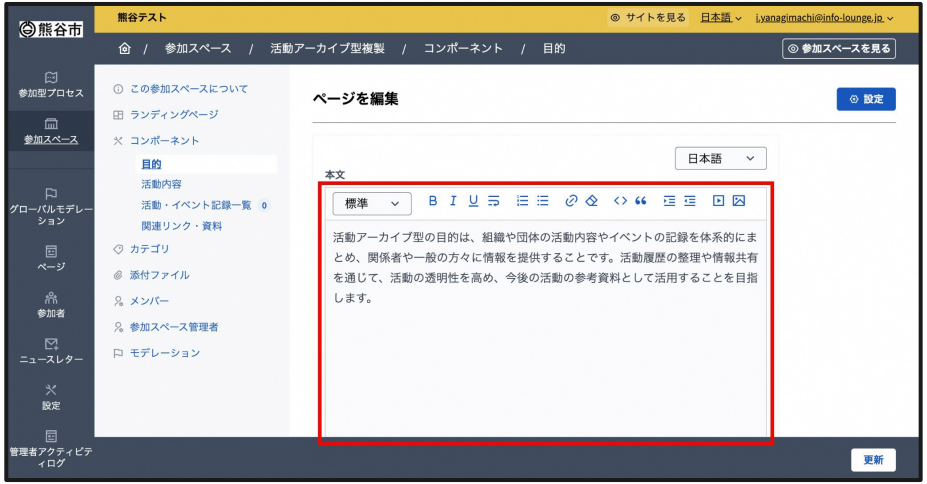
8.3.「ページコンポーネント」の使い方

このコンポーネントは「目的／活動内容／関連リンク
資料」などに使うことができます。

①「コンポーネント名」をクリックして、編集ページを開
きます。



②「本文」を更新します。


熊谷市
熊谷テスト
サイトを見る
日本語
i.yanagimachi@info-lounge.jp
参加スペース
活動アーカイブ型複製
コンポーネント
目的
参加スペースを見る
参加型プロセス
参加スペース
グローバルモデレーション
ページ
参加者
ニュースレター
設定
管理者アクティビティログ
この参加スペースについて
ランディングページ
コンポーネント
目的
活動内容
活動・イベント記録一覧 0
関連リンク・資料
カテゴリ
添付ファイル
メンバー
参加スペース管理者
モデレーション
ページを編集
設定
日本語
本文
標準
活動アーカイブ型の目的は、組織や団体の活動内容やイベントの記録を体系的にまとめ、関係者や一般の方々に情報を提供することです。活動履歴の整理や情報共有を通じて、活動の透明性を高め、今後の活動の参考資料として活用することを目指します。
更新

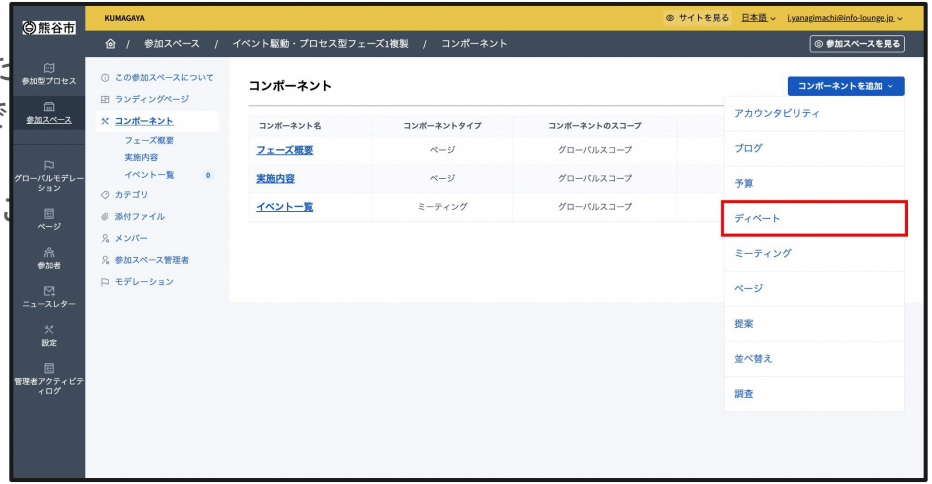
③右下の「更新」をクリックします。



8.4.「ディベートコンポーネント」の使い方

スペースまたはプロセスに意見交換したり、投票した
りするスレッドを追加するのが「ディベート」の機能で
す。
設定によっては参加者が自由にスレッドを追加するこ
ともできます。

①コンポーネントに「ディベート」を追加します。

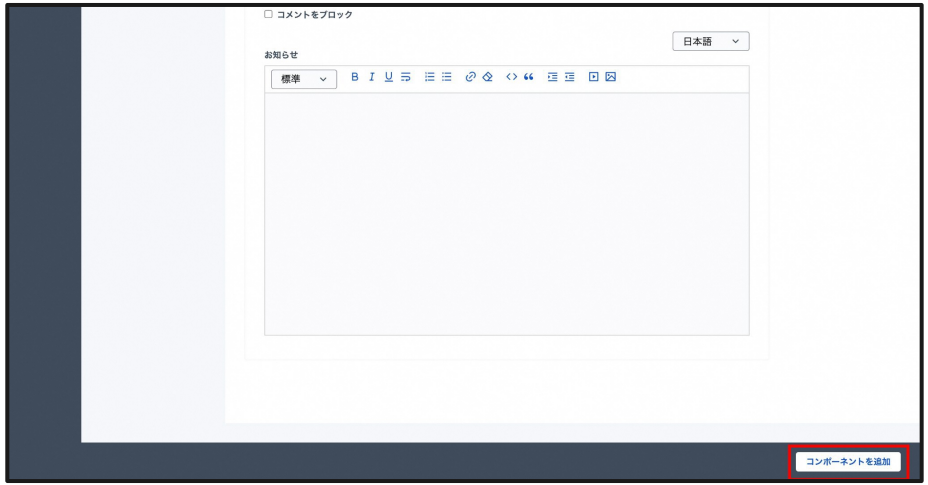


②「名前」を入力します。

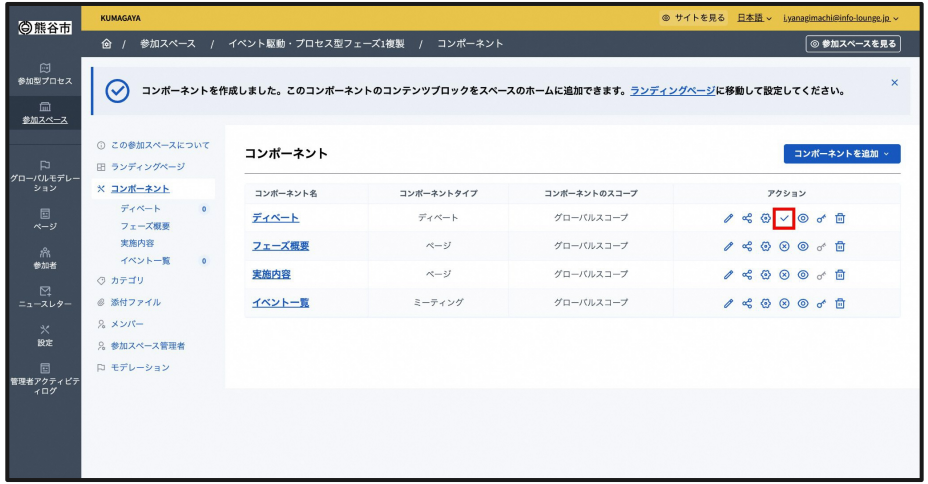
参加者に自由にスレッドを追加させたいときは「参加者はディベートを作成できます」にチェックを入れます。



③右下の「コンポーネントを追加」をクリックします。



④チェックマークを押してコンポーネントを公開します。



⑤ランディングページに「ディベート」というリンクが追
加され、ディベートページができます。



8.5.「ディベートコンポーネント」の投票方法

コメントを記入し、「賛成・中立・反対」のいずれかを選択して「コメントを公開」をクリックします。



8.6.「ディベートコンポーネント」の集計方法

①管理画面の参加スペースまたは参加プロセスをクリックします。



②スペース・プロセス名をクリックします。



③コンポーネント＞オープン会議をクリックします。



④「全てをエクスポート」クリックし、「コメントをエクセル形式で取得」をクリックします。



⑤登録したメールアドレス宛にzipの添付でファイルが届きます。

zipファイルを展開して、Excelを開くとC列にコメント、F列にユーザー名、G列に投票状況が表示されています。

投票	Excelの投票状況
賛成	1
中立	0
反対	-1



	C	F	G
	body	author/name	alignment
1	水やりに限界があるので、	okabe	1
0	予算が必要ですね。	okabe	0
0	ワークショップのコーディ	okabe	0
9	😊	okabe	0
9	反対です	Ituki@インフォ	-1

8.7.「予算コンポーネント」の投票方法

①予算を何に使うか投票することができます。

投票するには「投票に追加」をクリックします。



②予算コンポーネントの最小から予算までの間の金額を選択（投票に追加）すると、「予算コンポーネントの投票」をクリックすることができます。

※「予算コンポーネントの投票」をクリックしていない場合は、「投票に追加」を選択していても「保留中の投票」になります。



③投票先が問題なければ「確認する」をクリックします。



8.8.「予算コンポーネント」の集計方法

①管理画面の参加スペースまたは参加プロセスをクリックします。



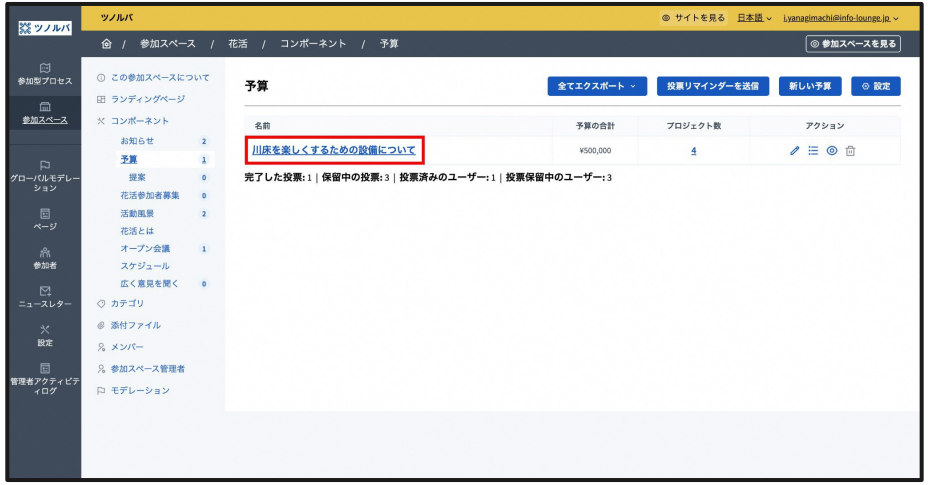
②スペース・プロセス名をクリックします。



③コンポーネント＞予算をクリックします。



④タイトルをクリックします。



⑤「全てをエクスポート」クリックし、「プロジェクトをエクセル形式で取得」をクリックします。



⑥登録したメールアドレス宛にzipの添付でファイルが届きます。

zipファイルを展開して、Excelを開くとAR列に投票先、BM列に投票数が表示されています。

AR	BM
title/ja	confirmed_votes
読書ができる書庫が欲しい	1
テスト	1
子供のための遊具が欲しい	1
夜にもゆっくりできる照明	1

9. 質疑応答

本日のまとめ

- ツノルバとは？
- 管理画面にログインしてみよう
- スペース（活動・プロジェクト）を作ってみよう
- プロセス（ワークショップ・会議）を作ってみよう

講習会のあと、ご質問があれば、ツノルバ 運営メンバーまでお問い合わせください！
また、講習会アンケート にお応えいただけると幸いです。